2026 年度事業計画

自：2026 年 4 月 1 日
至：2027 年 3 月 31 日

1．第 35 回ヘルスリサーチ研究助成事業

保健・医療の受け手の観点から、国内において最適な保健医療・福祉のシステムに資するヘルスリサーチ領域の共同研究に対し助成研究を行う。

公募期間　：　4 月 20 日（月）～　6 月 30 日（火）＊一般演題公募も同じ。

助成対象期間　：　原則として 1 年間（2026 年 12 月 1 日～2027 年 11 月 30 日)

応募方法　：　オンラインによる応募のみ。

公募告知　：　財団ホームページ、大学病院医療情報ネットワーク(UMIN)、関連学会を通じ告知。

助成規模：　5,600 万円*研究成果の論文投稿費は研究終了後２年を期限として別途助成。

１）国際共同研究助成
助成金額：　１件　300 万円以内
助成件数：　8 件程度（計 2,400 万円）

２）国内共同研究助成（年齢制限なし）
助成金額：　１件　130 万円以内
助成件数：　14 件程度（計 1,800 万円）

３）国内共同研究（2026 年 4 月 1 日現在、満 39 歳以下）
助成金額：　１件　100 万円以内
助成件数：　14 件程度（計 1,400 万円）

【参考】2025 年度実績　＜応募状況・採択結果＞

（　）前年度　金額：万円

	応募件数	採択件数	助成金額
国際共同研究	51 (26)	8 (10)	2,097 (2,663)
国内共同研究（年令制限なし）	75 (43)	14 (12)	1,497 (1,112)
国内共同研究（満 39 歳以下）	37 (31)	10 (9)	834　(815)
合　　計	163 (100)	32 (31)	4,428 (4,590)

2. 第 33 回ヘルスリサーチフォーラム･研究助成贈呈式実施及び講演録発行事業

ヘルスリサーチ助成研究の成果発表並びに一般演題の研究報告を行うとともに、本年度の研究助成受賞者の贈呈式を開催する。

また、本年度のテーマに沿った基調講演会等のプログラムを実施することにより、ヘルスリサーチの振興を図ることとする。

1）フォーラムテーマ

「放射線被曝の長期影響に関する実態」を柱として、よりヘルスリサーチとして一般化したテーマを検討中（TBD）。自然災害とヘルスリサーチ、災禍におけるヘルスリサーチ、ヘルスリサーチにおけるビッグデータの重要性、など。

2）スケジュール

＜開催日＞　2026 年 12 月 12 日（土）

＜開催方式＞　ハイブリッド形式（Live 配信実施予定）

＜会　　場＞　紀尾井カンファレンス（千代田区紀尾井町）

＜後　　援＞　厚生労働省（予定）

＜協　　賛＞　一般財団法人
医療経済研究・社会保険福祉協会　医療経済研究機構（予定）

3）プログラム

① 成果発表（主に 2024 年度研究助成受賞者）と一般公募演題

② 基調講演（演者等：TBD）

③ 2026 年度研究助成受賞者贈呈式

3．ヘルスリサーチワークショップ

2018 年より中止している「ヘルスリサーチワークショップ」については、その内容を見直して、再開するべく準備を始める。事務局と財団役員を構成員とする準備委員会を設置して、検討を開始し、2028 年度の再開を目指す。

4．広報活動（ヘルスリサーチニュース）

財団の事業活動の紹介やヘルスリサーチの啓発を図るための広報については、従来の財団機関紙とウェブサイトの２つの広報ツールについて、コンテンツを再検討する。情報の内容に則した広報ツールの見直しを行い、ウェブサイトを活用することによって、情報発信力を高め、広くヘルスリサーチの周知に努める。

以上